

絆

K I Z U N A

2021 DECEMBER

JAグループ青森 月刊広報誌 [900号]

12



資料請求キャンペーン

第2期

NEW 医療共済

メディフル

資料請求で
もれなく
プレゼント!



浜辺美波
有村架純
オリジナル
ASノート

資料請求は
こちら



応募期間：2021年10月1日(金)～2022年3月10日(木)

さらに!

NEW 医療共済

メディフル

他の共済もセットで資料請求いただいた方の中から

抽選で合計20名様に当たる!!

Aコース
10名様
JBL BAR 5.0
MULTIBEAM

映画館さながらの圧倒的没入感を自宅体験。
最新のサウンド技術とバーチャル技術で
リアルな立体空間を創出するサウンドバー。



Bコース
10名様
ル・クルーゼ
シグニチャー
ココット・ Rond 20cm

ル・クルーゼの鋳物ホーロー鍋は、フランスの
自社工場で職人の手によってひとつひとつ生産。
ずっしりとした重さ・厚みが美味しさの秘密。どんな
料理にも真価を発揮し、保温性も抜群です。



※2021年10月1日(金)～2022年3月10日(木)の期間中、当キャンペーン応募権利は1家族1回のみとなりますのでご了承ください。※抽選賞品への応募は、医療共済メディフルとそれ以外の共済(合計2種類以上)を同時に資料請求いただいた方に限ります。※抽選賞品の発送は、2022年3月下旬頃を予定しております。

JAの医療共済がリニューアルしました!

ポイント1 日帰り入院からまとまった一時金が受け取れます。

ポイント2 一生涯保障や先進医療保障など、
ライフプランに合わせて自由に設計できます。

ポイント3 健康を維持した場合に健康祝金が受け取れます。

※健康祝金支払特別を付加した場合、契約日以降3年ごと(共済期間が10年更新の場合は5年ごと)に治療共済金が支払われた入院をしなかった場合

詳しくはお近くのJA(または担当者)にお問い合わせください。

最新TVCMや
キャンペーン情報も
要チェック!



テレビCM
好評公開中!

こちら
チェック!



JA共済の
最新情報をお届け!



LINE
公式LINE
アカウント



Twitter
公式Twitter
アカウント

日帰り入院からまとまった一時金が受け取れる充実の医療保障

NEW 医療共済
メディフル

J Aの「不断の自己改革」の実践について

令和3年6月、農協改革を着実に推進するための規制改革実施計画が閣議決定された。

農協改革では、准組合員の事業利用の規制、信用事業の分離等が懸念されていたが、J Aの自己改革（農業所得向上の取組み等）の取組みが評価され、政府における農協改革の議論は一定の結論を得たものとなった。

今後、規制改革実施計画にもとづき農水省が、J Aの自己改革の取組みについて指導・監督することとなる。

規制改革実施計画では、J Aが自己改革にかかる3つの方針を策定し、それらの方針について組合員と徹底的な対話を行い総（代）会で決定することとなっている。

3つの方針とは、①自己改革を実践するための具体的な方針、②中長期の収支見通しについてのシミュレーション、③准組合員の意思反映及び事業利用についての方針である。これらの方針は毎年策定し、総会資料に掲載し、説明し、決定し、実践することとなる。

J Aは、担い手を中心に組合員との徹底した対話を通じて、組合員のニーズを的確に把握したうえで、必要な実践方策（例：契約取引拡大を通じた売上高増加、肥料の銘柄集約による取扱拡大を通じたコスト削減等）を「自己改革工程表（方策毎の3か年の成果目標等）」としてとりまとめ、その取組みを中期経営計画や事業計画に反映することとなる。

総会資料には次の事項を盛り込んだ「自己改革工程表」を毎年作成

- ①自己改革実践の基本的考え方
（農業所得増大（売上増加、費用低減等）の具体策とその効果等）
- ②自己改革の実践に向けた組合員の意思反映
（准組合員の意思反映、正・准組合員との対話によるニーズ把握等）
- ③自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取組みについて
（収支見通し、取組みによる収支改善効果等）

※自己改革工程表は、文章編と数値編の2種類を作成することを想定

今後も、新型コロナウイルス感染症の影響や人口減少の進行等農業、J Aをめぐる環境は大きく変化する。

こうした環境にあっても、J Aグループ一丸となって、農業者の所得向上のための取組みを始めとする一層の自己改革を進めることが必要である。

J A青森中央会

絆 12 目次 CONTENTS

メッセージ	1	経営の窓口	16
フラッシュ	2	J A青森NEWS	17
インフォメーション	4	輝き	18
東北農政局通信あおもり	11	すすめ！SDGs!	18
実践農業者支援	12	みりよく発信	19
組織農政通信	14		

フラッシュユ



JA青森

ほっこり笑顔に 園児から勤労感謝のプレゼント (11/19)

JA青森中央南支店に、近隣の筒井保育園の年長さん12人と引率教員らが訪れ、同JA職員が勤労感謝のプレゼントを受け取った。プレゼントを抱えた園児らは「いつもお仕事ありがとうございます。僕たちが作ったカレンダーです」と挨拶し、手作りしたカレンダーと花束を職員に手渡した。園児らにはお礼として、りんごジュースがプレゼントされた。贈られたカレンダーや花は、同支店に飾られる。

JAつがるにしきた



女性の声反映 常勤理事と意見交換 (11/18)

JAつがるにしきた女性部本部は、柏口マン荘で常勤理事、女性理事との意見交換会を開き、女性部本部から14人、JAからは役職員16人が参加した。松橋久美子本部長が「せっかくの機会なので、たくさん意見や質問を出し、実りある有意義な場としよう」とあいさつ。女性部からは農協としてのSDGsへの取り組みや移動金融店舗の状況、営農指導事業や事務局体制など様々な意見や要望が挙げられた。



JAごしょつがる

つけもの野菜/直売所で特売 (11/13)

JAごしょつがる直売所のまるっと新鮮館では、「つけもの野菜特売セール」を開催した。当日は、大玉の白菜4玉入り、大根10^{kg}入りなどが店先に並んだ。豊作による手頃な価格と3種類のサイズの中で赤カブ5^{kg}入りが売れ筋となった。

母親と来店した女性客は「母が上手に漬けた漬物を分けてもらって食べている。また母が漬けてくれると言うので一緒に来た」と話した。



JAつがる弘前

農家の苦労実感/JA職員が農作業体験 (11/8)

JAつがる弘前は2021年度新採用職員と登用職員合わせて19人を対象に、今年度最後となる農作業実習を行った。リンゴの収穫を行った職員らは「春先から栽培管理を行い、やっとの思いで収穫の秋を迎えられている生産者の思いを想像しながら、収穫作業に当たった」「普段の業務では知ることのできない現場の苦労を実感した」などと感想を話した。

ユニバース職員による視察研修 (11/5)

JA相馬村は、入社して3年以内の(株)ユニバース(本社・八戸市)の社員を対象に、園地と選果場の視察を行った。

同社職員らが店舗でリンゴを販売するにあたって消費者へ説明をし、販売の意欲と促進を図るのが目的。同社の青果部門を担当している三春雅登さんは「今年も多くの人に食べてもらうための必要な知識を学ぶ良い機会を頂いた。消費者に美味しいリンゴの見分け方や今年の品質の情報など消費者が喜んで買ってもらえる話が出れるようにしたい」と話した。



JA相馬村



JA津軽みらい

青森県のリンゴの魅力海外へ発信 (10/28)

JA津軽みらいは、本店でリンゴ輸出のオンライン記者会見を開いた。日本貿易振興機構(JETRO)が実施している日本青果物のキャンペーンの一環で、タイ現地の販売店舗や小売業者、輸入事業者とリモートで対談した。記者会見には同JAの工藤俊博組合長、村上勝憲常務、盛明德青果部長と輸出業者の役員が出席。販売店舗や小売業者らが青森県のリンゴ産業の特色やリンゴの栽培について質問し、JAの役職員が説明した。



JA十和田おいらせ

「ひとこと多い張り紙」で意識改革

すべての人の理解促進へ (11/17)

JA十和田おいらせは、持続可能な開発目標(SDGs)の理解を呼び掛ける「ひとこと多い張り紙」をJA施設館内に掲示している。廊下やトイレ、会議室など日常の中ですぐ目につく場所に配置。手洗い・うがいが「3. すべての人に健康と福祉を」につながることや退室時の消灯が「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、ノー残業デーが「8. 働きがいも経済成長も」につながることを呼び掛ける。

JAゆうき青森



天間林小 アピオス収穫体験 (11/4)

七戸町立天間林小学校3学年児童38人は、5月に植付作業を行っていたアピオスの収穫作業に挑戦した。重いパイプを運んだりマルチをはがす作業に苦戦していたが、アピオスが出てくると「あったー！」と喜んでいた。児童らは「たくさんのアピオスが収穫できてうれしい」「掘る前の作業が大変だったけど、楽しかった」と話していた。



JAおいらせ

JAの仕事を通して職業観を育む (11/11)

三沢市立三沢第一中学校1年生5人が、JAおいらせ本店を訪問し、窓口業務や選果作業を見学してJAの総合事業を学んだ。

同校は総合的な学習で働くことの大切さや職業観を育むことを目的に、1学年で職場訪問を行っている。生徒は、仕事のやりがいや資格などの身に付けておくべきものなどを質問し、地域の職業や農業に係わる仕事への理解を深めた。

JA八戸



大きなこんにゃく芋収穫、ビックリ！ (11/8)

JA八戸青壮年部五戸支部は、五戸町立上市川小学校で3年生の児童14人と一緒にコンニャク芋を収穫した。

今回収穫したコンニャク芋は6月に部員と児童と一緒に定植したもの。児童らは大きく育ったコンニャク芋を力を合わせて掘り出し「外国人の頭みたい」「こんなに大きくなった」と大きなコンニャク芋に驚いていた。12月には、JA八戸女性部川内地区の部員が講師となり、こんにゃくを作る予定だ。

栄光輝くのはどの男に？ あおもり農業男子

青森県農協青年部協議会が企画する「あおもり農業男子—青森の食を守る男たち」の投票が11月から始まった。次代を担う若手農家7人の中から、青森を代表する「農業男子」を選ぶ企画。専用のウェブサイトで県外からの投票も可能だ。

候補者は、ウェブサイトだけではなく、同協議会が運営するInstagramやFacebookで公開。農作業の様子から趣味やプライベートに関する情報を発信していく。

同協議会の成田啓輔委員長は「今回の企画をきっかけに、農業への更なる理解を深めていきたい。また、若手生産者に向けての情報発信だけではなくSNSによる広報活動が他の単協青年組織に波及効果を与えることを期待したい」と述べた。投票は2022年1月31日午後11時59分まで。農業男子に投票することで、抽選で20人に農産物をプレゼントする。

同企画は、一般消費者に向けて県の農業への理解促進が狙い。さらに新規就農者や若手農家に、青年部活動への興味・関心に繋げたい考えだ。

青森県の「りんご」にんにく「ごぼう」は、全国トップクラスの生産量を誇り、自然豊かな青森農業は、重要な産業です。青森の農業を支える若手農業男子を、SNSでご紹介しております。SNSをフォローしてあなたの応援したい「農業男子」は、メールにて応援メッセージと投票をお願いします。

▼投票はコチラ

【投票期間】2021.11/1 - 2022.1/31

【投票方法】専用のQRコードからメールにてメッセージを送付してください。【抽選対象】ご投票の方へのみメールにてご案内いたします(2021年11月31日現在)

【投票賞品】抽選で20名様に農業男子からの農産物をプレゼント

【投票先】ご投票の方へのみメールにてご案内いたします(2021年11月31日現在)

青森県農協青年部協議会 JA青森中央会 事務局 成田 啓輔
TEL.017-729-8760 ※seinaomori@gmail.com
https://seinaomori.wixsite.com/website

※本ポスターは、農協青年部協議会（メール）から、JA青森中央会事務局へのご連絡先等に案内させていただきます。

▲あおもり農業男子のポスター

「支援マインド」の重要性を説く 経営管理支援研修会

J A青森中央会農業支援課は10月29日と11月2日の両日、青森市の農協会館とウェブ会議システム「Zoom」で、J A営農指導員および記帳代行担当職員を対象とした研修会を開いた。農家に対する経営分析を行うための考え方や手法を取得してもらうことが狙い。県内6 J Aから11人が参加した。

農業経営支援研究所の木下徹代表が講師を務め、ケーススタディを取り入れた教材を活用し、架空のJ A職員が経営支援の過程で直面する課題を紹介。グループワークでは実データを活用し、農家の課題を分析させ、課題解決方法や目標設定の仕方を説明した。

木下代表は「農家自身に経営課題を認識してもらうことが何より大切。J A職員は農家と横並びの姿勢を心掛ける『支援マインド』を大切にしてほしい」と強調した。参加者は「講義前は指導する立場として、経営に関する課題を伝えるという認識があり気負うところがあったが、農家の声に耳を傾け、経営課題の気づきを促すスタンスで良いと知ることができたので、とても気が楽になった」と述べた。



▲グループワークで議論する参加者

プレスツアー J Aおいらせ

J A青森中央会は11月16日、六戸町と三沢市でプレス（取材）ツアーを実施し、報道関係者8人が参加した。農業とJ Aへの理解・関心を深めるのが狙い。参加者は今年の4月に稼働が始まった六戸町のナガイモ・ニンニクC A冷蔵貯蔵施設を見学。ナガイモは、痛みをさらに少なくし、長期保管が可能となり、ニンニクは乾燥から冷蔵保管まで、生産者の省力化ができると説明を受けた。

三沢市のナガイモ洗浄選果場では、レーンに並ぶナガイモが人の手と機械で、箱詰めされる過程

を視察。その他ゴボウ・ニンジンの施設を視察した。参加者は「三八地区付近で勤務していたことがあるが、J Aの施設をしっかりと見学するのは初めて」「このようなハイテクな機械設備があるとは知らなかった」などと感想を述べた。J Aの沖澤繁弥組合長は「今年完成したナガイモ・ニンニクC A冷蔵貯蔵施設は、当J Aで最も新しい施設。生産者の所得向上に繋がることを期待し、建設した。今回の視察で農業・J Aの理解を深めていただきたい」と参加者にPRした。



▲参加者に説明するJ A担当者（青森県六戸町で）

行事（12/10～1/10）

12月

- 10日 教育担当部課長会議（教育研修所）
- 10日 県参協定例会・経営問題研修会（ホテル青森）
- 12日 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール表彰式（ホテル青森）
- 14日 営農指導員スキルアップ研修兼資格認証指定研修会（教育研修所）
- 15日 ぐらしの活動担当部課長・担当者会議および基盤強化研修会（県農協会館）
- 16日 資産査定研修会（県農協会館）
- 16日 次世代リーダー育成研修会「修了レポート発表会」（教育研修所）
- 21日 J A事務リスク管理研修会（県農協会館）

1月

- 6～7日 監督者研修会（教育研修所）
- 6日 年金協会代議員・加入推進部長等研修会（六戸町文化ホール）
- 7日 定例理事会（県農協会館）
- 7日 年金協会代議員・加入推進部長等研修会（青森県総合社会教育センター）

入会してお得！使ってお得！ JAカードのお申込みは今がチャンス

JAバンク青森では、2021年12月からJA窓口でJAカード一体型または単体型を申し込まれた方全員にQUOカード500円分をプレゼントしている。（ただし、WEBでの申込みや家族カードは対象外。）

プレゼント期間は、2021年12月1日（水）～2022年3月31日（木）まで。

JAカードは入会後の特典も充実しており、JA-SS・JA直売所での割引や、ご利用金額に応じてポイントがもらえる「ご入会サクスプレゼント」等も実施している。

JAカードのお申込み、各種特典のお問い合わせは最寄りのJA窓口まで。



コロナに負けるな！ JAバンクローン県産品応援キャンペーン

JAバンク青森では、2021年12月から『コロナに負けるな！JAバンクローン県産品応援キャンペーン』を実施している。

このキャンペーンは、新型コロナウイルス感染症拡大で消費減退などの影響を受けている県産農産物の消費を応援するため、すでに実施している「あおもりの食を応援！住宅ローンプレゼントキャンペーン」と同じ目的で、昨年に引き続き実施するもの。

キャンペーン期間は、2021年12月1日（水）～2022年4月28日（木）までで、期間中にJAマイカーローン・JA教育ローン・JA多目的ローン・JAフリーローンのいずれかを新規でご契約された方全員に県産農産物をプレゼントする。

JAバンクローンのご利用は、JA窓口へのご

来店以外にも、インターネットを使って「JAネットローン」から24時間365日いつでも簡単に申込みができる。ご来店の時間がとれない方、借入可能かどうか事前に知りたい方は、お気軽に「JAネットローン」のご利用を。



【JAバンクローンの主なお使いみち】

JAマイカーローン

- ▶自動車・バイク・除雪機（いずれも中古含む）の購入資金
- ▶他金融機関・信販会社等からの借換資金（残価設定型クレジット含む）

JA教育ローン 一般型

- ▶就学されるご子弟またはご本人の教育に関する全ての費用
- ▶他金融機関・信販会社等からの借換資金と借換えに伴う諸費用

JA多目的ローン・JAフリーローン

- ▶家電・家具購入や冠婚葬祭など使いみちは自由
※ ただし、JA多目的ローンは資金用途証明が必要です。
- ▶他金融機関・信販会社等からの借換資金と借換えに伴う諸費用（ただし、負債整理は除く）

キャンペーンの詳細や各JAが取扱うローン商品へのお問い合わせは、最寄りのJA窓口まで。

行事 (12/10～1/10)

農林中央金庫

12月

14日 JAバンク青森運営協議会専門委員会（県農協会館）

1月

7日 信用事業業務検定試験対策研修（JAバンク住宅ローンアドバイザー）（県農協会館）

青森米販売対策会議

JA全農あおもりは11月1日、青森市のホテル青森で青森米販売対策会議を開き、米穀卸売業者や県内JA、青森県から代表者らが出席。令和3年産米の取り組みや作柄状況を共有するとともに、対策について協議した。

全農あおもりは集荷について、主食用米の作付抑制を図るため、飼料用米・備蓄米などに取り組んだ結果、前年産米を約13600トン下回る89700トン（前年産比87%）と見込んだ。

また、販売について、新型コロナウイルスの拡大などにより、一層の需給緩和状況となっており厳しい販売環境が続いている中、4年3月までに全量契約締結することや、同時期までに3万トン販売という目標を掲げた。早期契約および計画的な販売、取引先と連携したキャンペーンの展開による販売促進で環境を整え、4年産米の集荷・販売へ円滑に移行できるよう取り組みを進めていく。

全農あおもりの桑田徳文県本部長は「生産者が安心して栽培できるよう、引続き事前契約や契約栽培を柱とした安定的な取引をお願いしたい」と卸売業者に対し協力を求めた。



▲令和3年産米の販売について卸売業者に対し協力を求める桑田県本部長

やさい作品コンクール審査会

JA全農あおもりは11月1日、青森市の県農協

会館で「やさい作品コンクール審査会」を開き、入賞作品117点を選んだ。

このコンクールは、県産やさいを子どもたちに知ってもらうこと、やさいに愛着を持ってもらうことを目的として平成5年から始まり、今年で29回目となる。

図画は、好きなやさい、夢のやさいの生育・作業状況など、やさいに関するものが対象で、習字は半紙・条幅ごとに課題を指定。県内195校の小学校から図画614点、習字4474点の応募があり、青森市立造道小学校の原昌志校長ら6人が審査した。

審査委員長の原昌志校長は「今年も当コンクールにたくさん作品が寄せられ、嬉しく思う。子どもが県産野菜を食べたり、あるいはその生育に興味や関心を持つことは地産地消なども含めて郷土に親しむことであり、子どもたちにとって大事な体験である」と話した。

入賞作品は、11月20日と21日の2日間、青森市のサンロード青森2階催事ホールに展示した。



▲審査する関係者たち

「牛乳ごっくんキャンペーン第3弾」プレゼント抽選会

JA全農あおもりと青森県牛乳普及協会は11月4日、10月に展開した「牛乳ごっくんキャンペーン第3弾」のプレゼント抽選会を青森市の県農協会館で開いた。合計3311通の応募の中から、当選

者300人を決定した。

当選者には賞品として、あおもり和牛詰合せセットや萩原製品詰合せセットなどをプレゼントした。

全農あおもり畜産酪農部の長内敏也部長は「今年度は4回開催を予定しており、第4弾は12月に開催する。安全・安心でおいしい県産牛乳をたくさん飲んで応募して欲しい」と話した。



▲抽選する担当者ら

りんご高密度植わい化栽培実証展示ほ巡回検討会

JA全農あおもりは11月2日、JAつがるにしきた管内の園地（つがる市柏）で「りんご高密度植わい化栽培実証展示ほ巡回検討会」を開いた。りんごの栽培指導を行うJA営農指導員らが参加し、近年注目されている「高密度植わい化栽培」が導入された園地で、生育状況や栽培管理状況を確認した。

同園地は、ふじやシナノゴールドなど計4品種の1年生および2年生フェザー苗木を合計573本定植している。ふじとシナノゴールドは定植して2年目を迎え、今年が初成りだ。樹体の生育や栽培管理も申し分なく、また、本年は春先の霜害により結実にやや不安があったものの、着果量、果実品質とも概ね良好であった。

この他、りんご研究所の試験ほ場や定植後年数の異なる園地など6か所を巡回し、生育状況を確認した。

全農あおもりは、わい化栽培の一つの選択肢として、平成25年から、先進地であるJA全農長野などの協力を得て、高密度植わい化栽培の普及に取

り組んでいる。この栽培法は早期多収、均質生産、省力低コスト生産を目的とした栽培様式で、一般的に市販されている棒状苗木ではなく、M9台のフェザー苗木を定植し栽培する。普及には、苗木の安定した供給に加えて、野ネズミ対策、定植後の樹相診断方法および施肥管理方法の確立が課題。また、トレリスの設置が不可欠であるため、品質に優れ、より安価なトレリスの供給も今後課題となることが考えられる。

全農あおもりでは日本一のりんご産地として、産地の維持・拡大のため高密度植わい化栽培の普及に向けた検討を進めていくこととしている。



▲りんごの生育状況および栽培管理方法を確認する参加者ら

クイズに答えて応募できるキャンペーン実施中



特設ページはこちら

行事 (12/10~1/10)

1月

7日

運営委員会（県農協会館）

令和3年度JA共済青森県小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール表彰式の開催

JA共済連青森は10月28日、青森県農協会館で「令和3年度JA共済青森県小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール表彰式」を開催した。

両コンクールは、共済事業の理念である相互扶助と思いやりの精神を、次世代を担う小・中学生へ伝えていくとともに児童・生徒の書写教育に貢献することを目的に「書道コンクール」を、また、図画工作・美術教育の高揚を図り交通安全思想を幅広く社会に訴えることを目的に「交通安全ポスターコンクール」を開催しており、重要な地域貢献活動（文化支援活動）の一つとなっている。

今年度は、書道が353校から9,910点、交通安全ポスターは139校から686点の作品応募があった。

表彰式では、JA共済連青森の福士本部長から、書道半紙・条幅の部、交通安全ポスターの部の「最優秀賞」受賞者へ賞状と副賞の授与が行われた。

なお、「最優秀賞」受賞作品は県の代表として全国コンクールへ出展される。



▲最優秀賞を受賞された皆さんと審査員の皆さん

A | 顔認証検温サーモカメラシステムの 寄贈

JA共済連青森は11月5日、青森県教育委員会を通じて県内小・中学校（特別支援学校含む）にA | 顔認証検温サーモカメラシステム一式（自動消毒噴霧器付スタンド付）を寄贈した。

この活動は、地域貢献活動（健康管理・増進活動）の一環として、学校生活における新型コロナウイルス感染症の感染リスクを少しでも排除できるよう、県内の学校424校に寄贈したものである。

寄贈式では、JA共済連青森福士本部長から、

「県内の新規感染者数は減少傾向にあるものの、未だ終息には至っておらず、第6波の懸念もあることから、是非ご活用いただきたい」と青森県教育委員会和嶋延寿教育長へ手渡された。

和嶋延寿教育長からは「感染拡大の予防はもとより、子供たちが常日頃から体調管理を習慣化できる良いきっかけとなります。」と謝辞を述べた。



▲寄贈する様子（左：青森県教育委員会和嶋延寿教育長、右：JA共済連青森福士本部長）

JA共済ヘルスアップ講座の開催

JA共済連青森は11月10日、五所川原市プラザマリユウ五所川原でJA共済ヘルスアップ講座を開催した。

この講座は、平成30年度から地域貢献活動（健康管理・増進活動）の一環として実施しており、健康に関する講演およびヘルスチェックを通じて、健康維持、管理に対する意識の高揚を図り、併せて、笑いが健康に与える効果に着目し、笑い与健康に関するイベントを実施することで健康づくりに寄与することを目的としている。

今回は、今年度第1回目の開催となり、組合員とその家族および地域住民を対象に総勢約200人が参加した。

講座では、JA共済がJA女性組織の健康づくりのために開発した「JA共済レインボー体操」を楽しく体験し、その後、弘前大学大学院医学研究科社会医学講座特任教授の中路重之氏による「短命県をどのようにして返上するか〜カギを握るのは健康への知識〜」と題した講演とヘルスチェックが行われた。

昼には青森県産食材をふんだんに使用した彩り豊かな「JA健康寿命100歳弁当」を提供した。

午後は、日本整形外科学会理事・青森県立中央

病院整形外科統括部長の伊藤淳二氏による「骨の健康診断～ロコモ・骨粗鬆症と骨折について～」と題した講演とヘルスチェックが行われた。講演終了後にはテレビでお馴染みの落語家月亭八方氏の落語により参加者全員の笑顔で会場が溢れていた。

なお、今後は、令和3年12月15日に弘前市ホテルニューキャッスル、令和4年1月26日に三沢市きざん三沢で開催する予定である。



▲中路重之氏（弘前大学大学院医学研究科社会医学講座特任教授）による講演の様子



▲JA共済レインボー体操を行う様子

スマイルサポーター交流集会の開催

JA共済連青森は11月16日、ホテル青森でスマイルサポーター交流集会を開催した。

窓口対応力の強化、県内のスマイルサポーターによる事例の共有、日常の課題と解決策の検討を行うことを目的に実施された。

スマイルサポーターと共済担当者を対象に、16人が参加した。

午前は、スマイルサポーターの役割とカウンターセールス強化に向けた取組みについての説明、グループ討議が行われた。グループ討議は事前に作成していただいたプロフィールシートに基づき座長を中心に意見交換が行われた。

午後は、青い森マネードクターズの下田幸彦氏を講師に「売り込まなくても売れるセールス」と題し、講演をしていただき閉会した。



▲グループ討議を行う様子

令和3年度JA共済青森県小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール展示会の開催

JA共済連青森は、11月6・7日、青森市観光物産館アスパム（2階ロビー）、13・14日、弘前市さくら野百貨店（4階）、20・21日、おいらせ町イオンモール下田（1階パセリー菜横広場）で「令和3年度JA共済青森県小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール展示会」を開催した。

展示会では、書道半紙・条幅の部、交通安全ポスターの部の中から選ばれた「最優秀賞」、「特選」、「準特選」の81作品が展示され6日間で2,000人以上が来場した。

来場者は「小・中学生が書いたとは思えないほど上手だ」、「毎年このコンクールを楽しみにしている」等たくさんの声を聞くことができた。



▲展示会の様子（イオンモール下田）

行事（12/10～1/10）

12月	
15日	JA共済ヘルスアップ講座（ホテルニューキャッスル弘前）
1月	
7日	運営委員会（県農協会館）

米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針を変更しました (11/19公表)

米 基本指針

米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針 (農林水産省HP)
https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/index.html



令和3/4年主食用米等需給見通し (令和3年7月~令和4年6月)

- 令和3年6月末の民間在庫量は、「218万吨」で確定しました。また、令和3年産主食用米等の生産量は、10月25日現在の予想収穫量から「701万吨」(平年作ベースでは「696万吨」)と見込みました。
- 主食用米の需要量は、直近の米の販売動向が昨年と比べて増加していることから、3/4年主食用米等の需給を「702~706万吨」とし、この結果、令和4年6月末の民間在庫を、「213~217万吨」と見通しています。

令和2年産米について37万吨の調整保管(うち15万吨は特別枠)に取り組み場合の見通し (単位: 万ト)

令和3年6月末民間在庫量	A	218	→ 181 [37]
令和3年産主食用米等生産量	B	701	
令和3/4年主食用米等供給量計 C=A+B		919	→ 904 [15]
令和3/4年主食用米等需要量	D	702~706	
令和4年6月末民間在庫	E=C-D	213~217	→ 198~202 [15]

注1: 欄外の「令和2年産米について37万吨の調整保管(うち15万吨は特別枠)に取り組み場合の見通し」については、令和3/4年において、令和2年産米の37万吨のうち22万吨が供給され、15万吨についてコロナ影響緩和特別対策(特別枠)に取り組み場合の見通し。
注2: 主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策(特別枠)の販売・提供動向等によって、今後、変動する可能性がある。

令和4/5年主食用米等需給見通し (令和4年7月~令和5年6月)

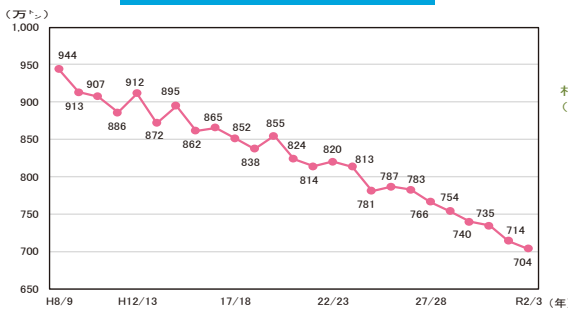
- 主食用米の需要量は、人口推計から算出し、「692万吨」となります。
- 令和5年6月末の民間在庫量を200万吨以下とし、需給の安定を図るため、令和4年産の主食用米の生産量を「675万吨」に設定しています。
- これにより、令和3年産米の取組から、▲21万吨、▲3.9万ha程度(ともに平年作ベース)の作付転換が必要となります。

(単位: 万ト)

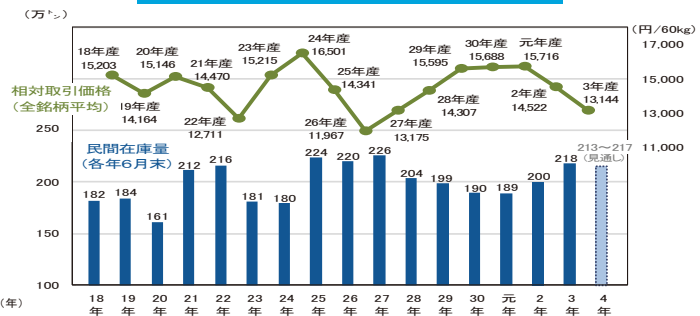
令和4年6月末民間在庫量	E	213~217	→ 198~202 [15]
令和4年産主食用米等生産量	F	675	
令和4/5年主食用米等供給量計 G=E+F		888~892	→ 873~877 [15]
令和4/5年主食用米等需要量	H	692	
令和5年6月末民間在庫	I=G-H	196~200	→ 181~185 [15]

注1: 欄外の「令和2年産米について37万吨の調整保管(うち15万吨は特別枠)に取り組み場合の見通し」については、令和2年産米の15万吨についてコロナ影響緩和特別対策(特別枠)に取り組み場合の見通し。
注2: 主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策(特別枠)の販売・提供動向等によって、今後、変動する可能性がある。

主食用米の需要量の推移



相対取引価格と民間在庫量の推移



注: 相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月(2年産、3年産は令和3年9月)までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている(2年産、3年産は速報値)。

民間在庫量は依然適正水準を上回る状況が続いております。令和4年産の主食用米の生産についても、需要に応じた生産とするため大豆等の水稻以外の作物への作付転換の検討をお願いします。

実践 農業者支援

J A 農畜産物直売所を起点とした生産拡大・所得増大の取組み

今回は、令和3年度の農業者支援事業のひとつである「J A 農畜産物直売所を起点とした生産拡大・所得増大の取組み」で実施した「J A 直売所キャンペーン」について紹介する。

J A 農畜産物直売所を起点とした 生産拡大・所得増大の取組み

【目標】

生産拡大・所得増大に向けた J A 農畜産物直売所での消費者ニーズの把握と J A への還元

【実施内容】

J A 農畜産物直売所キャンペーン等を実施し、消費者ニーズの把握による売れ筋商品や店舗業務にかかる要望の紹介、また、農畜産物加工等による付加価値向上の取組みを支援する。



1. 「J A 直売所キャンペーン」について

(1) 実施概要

今年度は、名称を「J A 直売所キャンペーンわくわくプレゼント」とし、① J A 直売所の認知度・集客促進、② 消費者ニーズの把握、③ 県産品の P R、④ 生産者支援の4項目を目的に、賛同いただいた県内15の J A 直売所(表1)において、令和3年9月4日(土)から令和3年10月31日(日)まで約2ヵ月間にわたり実施した。

当キャンペーンでは、直売所来場客から多くのニーズを把握するため、所定のアンケートに答えることで県産農畜産物がもらえるプレゼント形式を採用している。

【表1. 参加店舗一覧】

J A 名	店 舗 名
青森	あすなる直売センター、フルーツショップ浪岡
ごしょつがる	まるっと新鮮館
つがる弘前	アグリマーケット四季彩館、ひろさき新鮮組、グリーンハウスかあさんの店、農産物直売所ふじの里
相馬村	特産物直売センター林檎の森
津軽みらい	あっぷるはうす、尾上特産物直売所、産直センターひらか、サンフェスタいしかわ
ゆうき青森	あぐりハウスすずな
八戸	J A アグリマーケット八菜館
全農あおもり	アグリショップ青森店

(2) プレゼント内容

各直売所で1,000円以上買い物をすると、専用の応募ハガキがもらえ、必要事項を記入して応募いただくと、倉石牛しゃぶしゃぶ用400gをはじめ、合計150名様に抽選で県産農畜産物をプレゼントするという内容である。

(3) 応募数

コロナ禍での実施で、かつ参加が1店舗減ったこともあり、今年度の応募数は、昨年より1,685通少ない22,278通となった。(表2)

【表2. 応募数の比較】

今年度(15店舗)	前年度(16店舗)	差引	対比
22,278通	23,963通	△1,685通	93%

(4) アンケート内容

目的の一つである「消費者ニーズの把握」のため、次の内容(表3)でのアンケートを実施した。寄せられた意見・要望は、「コロナ対策をしっかりとっていて、安心して買い物ができる」「キャッシュレス決済を導入してほしい」「売場や駐車スペースを拡大してほしい」などがあった。

このアンケートは集計中であるが、品揃え・店舗運営に活用してもらうため、直売所ごとに集計し、結果はそれぞれの直売所にフィードバックすることとしている。

【表3. アンケートの内容】

Q1. 実際訪れた感想はいかがですか？

① 農産物の品質・鮮度 A 満足 B 普通 C 不満

② 農産物の価格 A 満足 B 普通 C 不満

Q2. 今後、こちらの直売所で売ってほしい商品を1つ教えてください。

農産物	加工品	惣菜	そのほか

Q3. 上記以外で店舗への要望・意見がありましたらご記入ください。

2. 課題

今回参加した15店舗は、経営（運営）形態や規模、加工品等含む品揃えの数など違うため、各店舗で抱える課題に違いはあるが、次の項目が共通した課題と推測される。

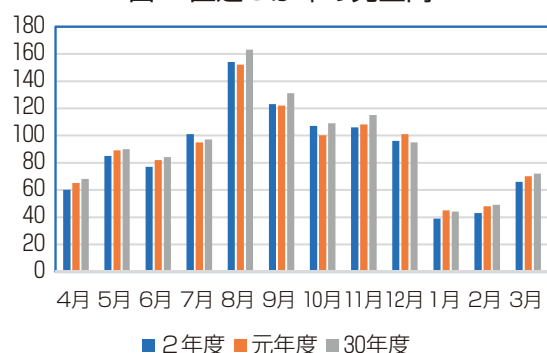
- (1) 周年作付・周年出荷による地場産の品揃え
(周年出荷による売上げの確保)
- (2) 価格設定
(消費者にはうれしいが、近隣スーパーとかけ離れた低価格設定)
- (3) 売れ残り、商品不足への対処方法
(売れ残りによる廃棄の問題。売れ筋商品であるにもかかわらず、追加補充ができない環境)
- (4) 出荷者の高齢化
(高齢により扱う種類・数量の減少や出荷をやめてしまう)

また、参加店舗に対し、直近3か年の売上高と客数について調査した結果、傾向として各月の売上高（図1）と客数（図2）は比例していることがわかった。

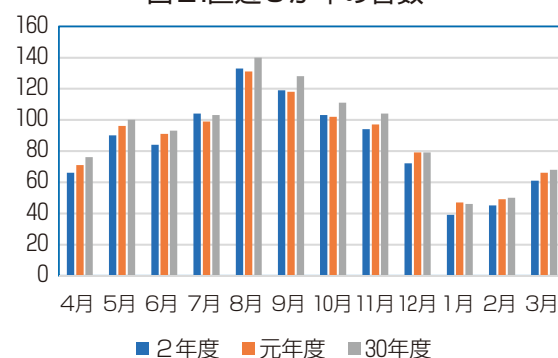
特に1月から4月の期間は、他の月と比べ、通年販売できる地場産の農産物がないことや、降雪などにより売上高・客数ともに大きく減少している。

売上高と客数が比例する直売所での運営については、集客能力を高めることも大きな課題となってくる。

百万円 図1.直近3か年の売上高



千人 図2.直近3か年の客数



今は大きな危機に直面していなくても、これらの課題を解決していかなければ、いかに黒字店舗でも将来存続できなくなる可能性は否定できない。

「この直売所に行かなければ買えない商品」「地場商品がどこよりも豊富」「朝採れ野菜が絶品」等、直売所ごとの特徴を活かしたセールスポイントを数多く揃えるためにも、多様化し刻々と変化する消費者ニーズを絶えず把握し、売れ筋をつかむ必要がある。

3. 今後の対応

直売所キャンペーンが始まる直前、青森県による「新型コロナウイルス感染症緊急対策パッケージ」が発表されたことから、売上高・集客数とも大幅な減少が危惧された。

しかし、直売所担当者からは「昨年のコロナ発生以降、売上・客足とも多少の減少はみられるものの、極端な減少ではない」との声が多く聞かれた。

これは、コロナ禍であっても、直売所を訪れる消費者にとっては「無くてはならない存在」であり、「人を惹きつける魅力」が直売所にはあると考えられる。

今回の結果をもとに、来年度はさらに充実した内容で開催できるよう「青森県JA直売所協議会」において内容を十分協議するとともに、これからも農業者と消費者を結ぶ販売拠点として、消費者ニーズの把握および出荷者に対する売れる農畜産物の生産提案等を通じた「農業者の所得増大」に向け、本会は直売所を支援していく。

(中央会 農業対策部)

組織農政通信

JAならではの活動を通して
ごはんの魅力を伝えよう

ごはんは太るというイメージはないだろうか。本稿では、ごはんを食べても太らない見解や、積極的にごはんを食べたくなるような魅力を紹介する。

1. 人はなぜ太る？

人はなぜ太るのか。これまで、一般的に「肥満は遺伝」と認識されてきたが、近年、生活環境の関与に着目されている。現代人の肥満は、食べ過ぎ、運動不足に加え、生活習慣の乱れなど、様々な要因が考えられるという。

2. 誤ったダイエット神話

「ごはんを減らせば痩せられる」というイメージはないだろうか。これは誤ったダイエット神話のようだ。ごはんなどの糖質をたくさん食べると、グリコーゲン（ブドウ糖）として体内に取り込まれる。グリコーゲンは、脳の非常食と言われているが、体内に貯蔵される際、グリコーゲン1gに対して、水が3g付着する。つまり、食べた量のじつに3倍もの水がたまることになる。

一般的には体重しか量らないため、「重くなった＝太った」と誤解されているが、実際には、糖質はあまり脂肪にならないという。

太りやすい生活習慣の例

よく噛まない「早食い」

満腹中枢が働くまでの時間がかかり、食べ過ぎを招く。



運動不足

摂取したカロリーを消費できないだけでなく、太りやすい身体になる。



アルコールの摂り過ぎ

短時間で多量のアルコールを摂取すると、アルコールの分解が優先され、脂肪分解が止まる。



3. ごはんの魅力を知ったら、食べずにはられない!!

(1) ごはん食は肥満防止に有用

ごはん食は、高脂肪食に比べ、食後の満腹感が持続し、より高い満足感が得られるという研究結果がある。一方、高脂肪食は心拍数を上昇させるため、心臓への影響が懸念されることが実験により明らかになっている。





(2) ごはんに含まれるでんぷんの働き

ごはんには、難消化でんぷん（レジスタントスターチとも呼ばれる）という炭水化物が含まれてい

る。これは、非常に消化されにくく、体内で食物繊維と同じような働きをする優れたものである。

♡♡ ~レジスタントスターチの効用~ ♡♡

- ①食べ過ぎを防ぐ
- ②急激な血糖値の上昇を防ぐ
- ③腹持ちの良さ
- ④腸内環境を整える

<p>ごはんがお腹の中に入ると、水分を含んで膨れる</p> <p>↓ そのため</p> <p>消化酵素の作用を受けにくくなり、過剰な糖の吸収を防ぐ！</p> 	<p>水分を含んでゲル状になって、非常に膨れる</p> <p>↓ そのため</p> <p>消化・吸収がゆっくりになり、血糖値が急激に上がらずに済む！</p>  <p>高脂肪食 → 心拍数上昇</p>	<p>でんぷんを含む食品で、粒食として食べるのはごはんだけ！</p> <p>↓</p> <p>消化がゆっくりゆっくりに行われるので、腹持ちが良い！</p>  <p>ごはん食 → 高脂肪食に比べ、食後の満腹感が持続</p> <p>◎同じエネルギー量であっても、満腹感の得られる食事は、肥満防止に繋がる！</p>	<p>私たちの健康には、腸内のビフィズス菌というものが関わっている</p> <p>↓</p> <p>ごはんには、ビフィズス菌が育つ環境を整えてくれる働きがある！</p> 
--	--	--	--

(3) ごはんは栄養たっぷり健康に良い

ごはんには、体に必要な様々な栄養成分が含まれている。脳や体のエネルギーになる炭水化物や、筋肉や血液などの体の基本を作るたんぱく質も含まれている。

たんぱく質は、他の穀類に比べると、非常に栄養価が高い。さらに、亜鉛などのミネラル類や食物繊維も含まれており、同じ量を食べた場合の食物繊維の量は、レタスを上回る。

4. まとめ

“国民の主食であり、食文化の基礎”など、お米の重要性を訴えかけることも大事なことであるが、茶碗一杯、わずか25円のごはん食による健康増進について、JAくらしの活動を通じた啓蒙と実践、さらにコミュニティ誌を活用した広報活動により、ごはん食の魅力を地域住民に積極的に情報発信していくことが必要ではないだろうか。

(中央会 農業対策部)

〈参考文献〉

厚生労働省 (2021) 「肥満と健康」 <<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/food/e-02-001.html>> (閲覧日：2021年10月25日)

高野克己 (2021) 「米の栄養分とその働き」 公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構 <<https://www.komenet.jp/sedai02/94.html>> (閲覧日：2021年10月25日)

森谷敏夫 (2021) 「ごはん食は食後の満腹感が持続するため、肥満防止に有用です」 公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構 <<https://www.komenet.jp/tsukuru/theme02.html>> (閲覧日：2021年10月25日)

森谷敏夫 (1999) 『人は必ず太る しかし 必ず痩せられる』 講談社



経営の窓口

個人情報保護法改正のポイントについて

1. はじめに

個人情報保護法（以下「法」という）については、令和2年度に法改正が行われるとともに関係政令・規則が整備され、本年8月には「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」等の改正が行われた。

今回の法改正は、個人情報に対する意識の高まりや、技術革新を踏まえた保護と利活用のバランス等の観点から行われたもので、全面施行は令和4年4月1日とされており、以下で主な改正点について確認したい。

2. 個人の権利の在り方

- (1) 改正法では、利用停止・消去等の個人の請求権について要件が緩和され、不正取得等の一部の法違反の場合に加えて、個人の権利又は正当な利益が害されるおそれがある場合にも利用停止・消去を請求できるようになる。
- (2) 企業が、開示、内容の訂正・追加または削除、利用の停止、消去および第三者提供の停止等を行う権限を有する保有個人データの開示方法について、現行法では原則として、書面の交付による方法とされている。改正法では、電磁的記録の提供を含め、本人が開示方法を選択できるようになる。
- (3) 個人情報を第三者に提供する場合に義務付けられている「第三者提供記録」について、本人が開示を請求できるようになる。
- (4) 取得から6カ月以内に消去する短期保存データについても、保有個人データに含めることとし、開示、利用停止等の対象となる。
- (5) 現行法ではオプトアウト規定*¹により個人情報を第三者に提供する場合、人種、社会的身分、病歴等の要配慮個人情報については、第三者提供することができないこととなっている。改正法では、これに加え、①不正取得された個人データ、②オプトアウト規定により提供された個人データについても第三者提供することができなくなる。

3. 事業者の守るべき責務の在り方

- (1) 現行法では漏えい等が発生した際の個人情報保護委員会や本人への報告は努力義務となっている。改正法では、要配慮個人情報の漏えいや不正利用により財産的被害が生じるなど、個人の権利が侵害されるおそれが大きい場合は、個人情報保護委員会への報告と本人への通知が義務付けとなる。
- (2) 違法な行為を営むことが疑われる事業者、暴力団等への提供や、個人の性別、国籍等の特定の属性により採用選考等に差別的取扱いをするなど、違法および不当な行為を助長、または誘発するおそれがある方法により、個人情報を利用してはならない旨が明確化される。

4. データ利活用に関する施策の在り方

- (1) イノベーションを促進する観点から、氏名等を削除した「仮名加工情報」を新設した*²。内部分析に限定する等を条件に、開示・利用停止請求への対応等の義務を緩和する。
- (2) 提供「元」ではIDや購入履歴等のデータは個人データに該当しないが、提供「先」では、そのデータを共有し紐づけて個人データとして保有することが想定される。これらの情報は「個人関連情報」として、第三者提供する場合は、本人同意が得られていること等の確認を義務付ける規制が新設された。

5. さいごに

信用事業を行うJAが適用を受ける「金融分野における個人情報保護に関するガイドライン」については、現在、関係当局において改正案が検討されている。金融分野ガイドラインの改定時期が未定となっている一方、JAでの内規の整備は、改正法の全面施行日である令和4年4月1日までに行うことが原則的な対応として必要となる。

全面施行日が迫ってきているため、今般の改正に速やかに対応し、規程等を見直すとともに、改正点を把握したうえで今一度個人データの取扱いについて、職員への周知徹底を図る必要がある。

本会は、本年12月末日時点で明らかとなっている改正法・ガイドライン等の内容を踏まえ改訂した規程例を、令和4年1月中を目途に県内JAに提供するとともに、必要な情報提供や支援を行っていきたい。

* 1 本人の求めがあれば事後的に停止することを前提に、提供する個人データの項目等を公表等したうえで、本人の同意なく第三者に個人データを提供できる制度。

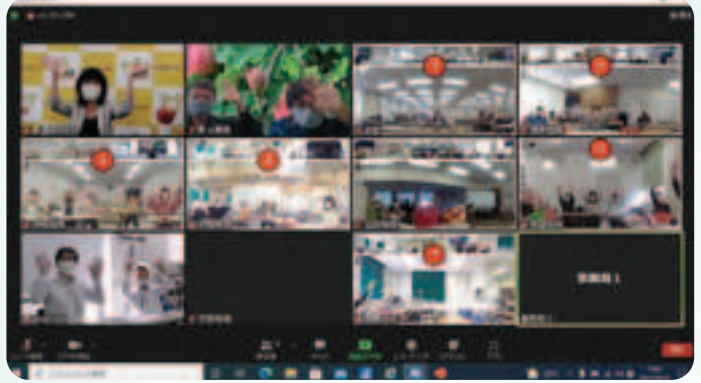
* 2 仮名加工情報とは、他の情報と照合しない限り特定の個人を識別することができないように個人情報を加工して得られる個人に関する情報。

現行の「匿名加工情報」は、その元データである個人情報を復元できないように加工したものであるのに対して、仮名加工情報は、匿名加工情報と同様に氏名、住所、個人識別符号等は削除するものの、他の情報と照合することで元データである個人情報を復元できるものも含む。

(中央会 経営対策部)

消費地との信頼更に厚く オンライン交流会初開催

J A 青森りんご部は10月19日、産直事業協定を結んでいる生活協同組合コープやまぐち（山口県）と、オンラインでは初となる産地学習交流会を開いた。交流会は、生産者（浪岡地区リンゴ農家）と消費者（コープやまぐち組合員）が交流できる場を設け、顔の見える関係作りを進めることで、食の安心を生み出すことを目的として毎年開催している。コープやまぐちの各事業所8ヵ所に集まった消費者らは、商品を手にとるだけでは分からないリンゴ農家の取組の工夫などを学習し、質問を交えながら理解を深めていった。



山口県内各地と結んだ zoom の映像

2012年に調印した同協定は、今年で10周年を迎えた。コープやまぐちで開催したリンゴ即売会に同 J A 職員が駆け付け、一緒に PR したこともある。17年には産地視察交流会として、コープやまぐちの役職員と組合員代表が浪岡地区のリンゴ園を訪れ生産者と交流するなど、互いに顔を合わせる機会を大事にしてきた。20年は新型コロナウイルスの影響で中止となり、21年も現地での交流は叶わなかったが、初めてのオンラインでの交流会開催にこぎつけた。

同 J A がコープやまぐちに出荷するリンゴの多くは「葉とらず回さずリンゴ」。より多くの養分を蓄えられるよう葉を摘まず、養分を運ぶ茎を傷めないようにツル回しをせずに栽培したリンゴを毎年山口県に届けている。

同 J A がコープやまぐちに出荷するリンゴの多くは「葉とらず回さずリンゴ」。より多くの養分を蓄えられるよう葉を摘まず、養分を運ぶ茎を傷めないようにツル回しをせずに栽培したリンゴを毎年山口県に届けている。

買い物客で賑わう J A 秋まつり開催

J A 青森は10月30日、J A 青森羽白野菜集出荷センターで J A 秋まつりを開催した。訪れた約800人の買い物客らは、新鮮な野菜や加工品、スイーツなど思い思いの買い物を楽しんだ。先着500人には豪華なプレゼントも実施し、大好評だった。

東青地域のブランドそば「あおもり海道そば」を PR するため、2019年までは「新そばまつり」という名称で、茹でたての新そばを来場者に提供してきた同イベント。20年は新型コロナウイルスの影響で会場内の飲食を禁止したことに伴い、新そばも持ち帰りのみとし、名称も「J A 秋まつり」に変更していた。今年は名称が変わってから2年目の開催となる。県や市と連携を取りながら新型コロナウイルス対策を徹底して開催した昨年のノウハウを生かし、今年も会場入口で来場者全員に検温や消毒、マスク着用に協力していただいた。



大容量の玉ねぎを買い求める買い物客ら

来場者へのプレゼントには J A 共済地域貢献活動事業を活用した。内容は、あおもり海道そばの茹で麺2食、あおもり海道そばを使用したロールケーキ（カット）、そして地域のお母さんたち手作りの焼き肉のたれで、受け取った人は皆、豪華なプレゼントに笑顔を見せた。買い物客らは、シャインマスカットやリンゴなどの果物や、大容量でお買い得な玉ねぎ、山菜の加工品など、両手に沢山の買い物袋を提げて会場をあとにした。

来場者へのプレゼントには J A 共済地域貢献活動事業を活用した。内容は、あおもり海道そばの茹で麺2食、あおもり海道そばを使用したロールケーキ（カット）、そして地域のお母さんたち手作りの焼き肉のたれで、受け取った人は皆、豪華なプレゼントに笑顔を見せた。買い物客らは、シャインマスカットやリンゴなどの果物や、大容量でお買い得な玉ねぎ、山菜の加工品など、両手に沢山の買い物袋を提げて会場をあとにした。



輝き

J A全農あおもり
りんご部りんご課
葛西 逸平 さん

●プロフィール
2019年4月から勤務 青森県青森市出身 24歳

— 働くきっかけは？ —

大学の先生から勧められた、全農のインターンシップに参加したことです。

— 業務内容を教えて下さい。 —

主に五所川原地区（JAごしょつがる、JAつがるにしきた）のりんご推進担当をしています。また、夏はすいか・メロンの推進担当をしています。

— 働いた感想は？ —

入会前は、生産者の方と直接関わりあうイメージでしたが、1年目、2年目の時は、精算業務担当で内勤での仕事がほとんどだったので、入会前とのギャップがありました。

現在は、推進担当として農協さんと関わることができる機会がたくさんあり、失敗ばかりですが日々勉強しています！

— 仕事をする上で、日頃心がけていることは？ —

人に何かを説明するときは、出来るだけ丁寧にできるよう心掛けています。自分自身が物覚えがいいわけではないので、「自分が説明されたら理解できるか」を意識して説明するようにしています。

— 特技・趣味は？ —

去年からゴルフを始めたので、早く上手になれるよう練習中です！

— あなたが自慢できることは？ —

口笛はたまに褒められます。

— 将来の夢は？ —

大きい車に乗りたいです。

地域の親子と管内の農畜産物の魅力学ぶ

JA八戸では、地域の小学校と連携し、食農教育活動に力を入れている。毎年2月に開催している親子料理教室は、子どもたちや地域住民に、JA八戸管内の農畜産物を認知してもらう機会にするとともに、「地産地消」や親子で料理を作り食べる喜び「食育」を啓発する目的で開いている。



パンの焼きあがりに喜ぶ児童
(青森県八戸市)

この取り組みは、持続可能な開発目標（SDGs）の目標2「飢餓をゼロに」と4「質の高い教育をみんなに」につながる。

親子料理教室は今年度の開催を含め3回目となる。昨年は、おやこ食育I a b. ココロオドルの津馬真弓さんを講師に迎え、管内の米「まっしぐら」を使った料理に親子で挑戦。教育情報誌「家の光」に掲載している「生米パン」と「おやき」を作った。参加した親子は「米粉でパンを作ると思っていたら、お米からパンを作ることにビックリした。おいしそうにふっくら焼きあがったので、家族でおいしく食べたい」と話した。

今年度も親子料理教室を開催し、「まっしぐら」を使った「デコ巻きすし」を作る予定だ。JA八戸では、今後も次世代の子どもたちへの農業の大切さを伝える取り組みを行っていく。



催事カレンダー

開催日時 月 日	JA名	イベント名	開催場所	問合せ先		備考
				部署	電話番号	
注文受付：12/15まで 商品引取：12/28	JA全農あおもり	農林水産物歳末市	県農協会館	企画管理課	017-729-8615	注文方法や商品等の詳細は、ホームページをご覧ください。

適正着果で良品生産目指す
弘前市
安倍 慎太郎さん



葉とりをする安倍さん（青森県弘前市で）

安倍慎太郎さん(35)は、弘前市高岡で両親とともにリンゴ約2haを栽培している。就農前は車の整備士になる夢を抱き、高校で整備士免許を取得。「いずれは家業である農業に就き、農業機械やトラックを自身で整備したい」との考えから、整備士を募集していた運送会社に就職した。

当時は祖父と母が主に農作業を行っており人手が足りていたが、就職から13年が経過した2017年の秋、祖父が体調を崩し一線を退いたことを機に、会社を辞めて就農した。

安倍家では代々、弱く摘果して多収を目指す栽培方法を取っていたため、多収となった翌年はその反動で減収。いわゆる極端な「隔年結果」の状態になっていた。こうした栽培方法に疑問を抱いた慎太郎さんは、まず、収量のばらつきを抑えるため剪定に着目。強めに剪定して枝の密度を下げ、更に適正着果にも心掛けた。その結果、玉伸びが良く、良品生産に繋がっていると話す。着果量は昨年と比べて大きな差がないことから、成らせすぎの改善成果を実感しているとのことだった。

一方、今年で就農4年目になるが、まだ実すぐりや葉取りの段取りがうまくできないのが課題なのだそうです。「今後経験を重ねながら、作業効率を向上させていきたい」と意気込み、「自身に合った栽培方法を模索するため、ワイ化や高密度栽培などにも取り組みたい」と目標を語った。

(日本農業新聞・青森県版11月11日掲載)

後編
記集

とうとう今年も初雪(11月23日)である。気象庁の発表では、昨年より15日、平年に比べても15日遅いとのこと。11月に入っても、例年に比べたら気温の高い日が続いていたのでこの寒さは久しぶりに体に応える。

今年の本県は、大規模な自然災害もなく、収穫量全国一のりんごをはじめ米やながいも、にんにく、ごぼう、にんじんなどは例年並みに収量が確保できる見込みで農家を安堵させることができそうだ。日本国内の新型コロナウイルスのワクチン接種率が世界一の75%越えとなり、同調するように全国の新規感染者が一気に一日あたり100人を下回る日が続いて喜ばしい限りである。

年が明けると3回目の接種がスタート予定で、接種後のあの腕の痛みにもた耐えなければならぬが、現在の西欧の国々の感染拡大・都市封鎖の報道を目の当たりにして気を引き締めなければならない。

ガソリン・灯油が高い。ある店頭での表示が168円、107円とあったが、異常である。自分は幸い152円、95円のお店を利用しているが、産油国に対しレッドカードである。皆さんは、この冬どのように節約を考えていますか？ちりも積もればなんとやらのようにまずはできることから始めよう。(公)



ホームページアドレス

- JA青森中央会 <https://www.ja-aomori.or.jp/chuoukai/>
イベントの様子、歳時記、産直・JA情報などをご覧いただけます。
- JAバンク青森 <https://aomori.jabank.org/>
商品・サービスのご案内のほか、マネーシミュレーションや全国のJAバンクへのリンク等をご覧いただけます。
- JA全農あおもり <https://www.zennoh.or.jp/am/>
生産量日本一のりんご・にんにく・ごぼうをはじめとした農畜産物情報や活動状況、中古農機情報を紹介しております。
- JA共済連青森 <https://www.jakyosai-aomori.jp>
JA共済のご案内のほか、地域貢献活動の取組みを紹介しております。

伝えたい人に、 伝える、伝わる。



JAグループの広報・PRは日本農業新聞の広告で。

広告媒体

日本農業新聞



全国のJAなどが出資し、農業の専門紙では唯一の日報として全国31万部発行※しています。農家組合員とJAグループ、地域をつなぐ全国メディアです。



※日本ABC協会認定
2020年1~6月平均販売部数

日本農業新聞Web



農業関係のWebメディアの世界でも有数のページビューがあり、(2020年度月間平均PV数100万)、農業関係者だけでなく、幅広いユーザーに閲覧されています。記事を配信しているYahoo!ニュースからも、多くのユーザーが流入しています。

フレマルシェ



JAのファーマーズマーケットを中心に全国で25万部を配布するフリーマガジンです。食や農業に関する多様なコンテンツを掲載。食に関心の高い30~60代の女性などの消費者がメイン読者です。

お問い合わせは、日本農業新聞広告部

【Eメール】 koukoku@agrinews.co.jp 【TEL】 03-6281-5810



THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞

わたしのミカタ

"Ienohikari"

家の光

コロナで外出ができないので『家の光』をしっかり読んでいます。知らなかったことがいっぱいです

毎号興味のある特集が掲載され、読むほどに新発見があり楽しく学べます

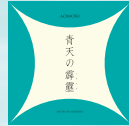
本誌記事と関連した動画をYouTubeで配信。5月号からは読者限定動画も! 誌面の2次元コードを読み取ってご覧ください。

家の光	定価(税込)
普通月号	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	922円
付録月号(家計簿付き12月号)	1,027円

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ
JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船原町11 TEL 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>



つがるロマン
TSUGARU ROMAN



青天の霹靂
SEITEN NO HEKIREKI



まっしぐら
MASSHIGURA

青森から3つの「美味しい!!」

青森米本部
aomori-komehonbu.gr.jp



©やなせたかし

青森県民割

宿泊代金(1人1泊あたり)
50%割引!
(最大5,000円割引)

普段一緒にいる方のご旅行をお願いいたします。

さらに!!
お一人様 **2,000円**分の
青森県おでかけクーポン
プレゼント!

1泊2食付/消費税・入湯税込

青森一帯にいる人と、少人数で、
泊まって応援、ゆったり安心!

予約受付期間: 令和3年7月17日~12月31日 宿泊期間: 7月18日~12月31日

<p>酸ヶ湯温泉 青森の「名湯」酸ヶ湯温泉 旅館棟イ棟</p> <p>温泉自慢のお宿 高い効能を持つ秘湯を、名物の湯治「ヒバ千人風呂」と男女別内湯で満喫!</p> <p>宿泊期間: 7月18日~12月28日 4名様1室(イ棟) 3名様1室(イ棟) 2名様1室(イ棟)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>平日 宿泊</td> <td>大人お1人様 お支払い実額 (12,250円) (値引前宿泊代金)</td> <td>7,250円</td> <td>8,350円</td> <td>(13,350円)</td> </tr> <tr> <td>休前日 宿泊</td> <td>大人お1人様 お支払い実額 (13,460円) (値引前宿泊代金)</td> <td>8,460円</td> <td>9,670円</td> <td>(14,670円)</td> </tr> </table> <p>設定除外日 8/2~8/15、9/15~10/16は設定除外日です(空室・料金はお問い合わせください)</p>	平日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (12,250円) (値引前宿泊代金)	7,250円	8,350円	(13,350円)	休前日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (13,460円) (値引前宿泊代金)	8,460円	9,670円	(14,670円)	<p>津軽南田温泉 津軽南田温泉 ホテルアップランド</p> <p>温泉自慢のお宿 湯量豊富な掛け流しの温泉は、毎日新鮮なりんごを投入! 津軽を代表するおもてなしの宿</p> <p>宿泊期間: 7月18日~12月30日 4名様以上1室 3名様1室 2名様1室 10/16~11/10</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>平日 宿泊</td> <td>大人お1人様 お支払い実額 (13,350円) (値引前宿泊代金)</td> <td>8,350円</td> <td>8,900円</td> <td>9,450円</td> <td>5,500円 増し</td> </tr> <tr> <td>休前日 宿泊</td> <td>大人お1人様 お支払い実額 (15,550円) (値引前宿泊代金)</td> <td>10,550円</td> <td>11,100円</td> <td>11,650円</td> <td>5,500円 増し</td> </tr> </table> <p>設定除外日 11/23~24、12/19~23は休館日(臨時休館日はお問い合わせください)</p>	平日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (13,350円) (値引前宿泊代金)	8,350円	8,900円	9,450円	5,500円 増し	休前日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (15,550円) (値引前宿泊代金)	10,550円	11,100円	11,650円	5,500円 増し	<p>四季の湯 不二やホテル</p> <p>温泉自慢のお宿 四季折々の風情の露天風呂、日本直産を味わえる情緒たっぷりの「四季の湯」</p> <p>宿泊期間: 7月18日~12月31日 4名様以上1室 2~3名様1室 8/7、9~11、13~18 8/2~7、12~14 10/10~31、12/29~30 12/31</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>平日 宿泊</td> <td>大人お1人様 お支払い実額 (13,350円) (値引前宿泊代金)</td> <td>8,350円</td> <td>9,450円</td> <td>2,200円 増し</td> <td>4,400円 増し</td> </tr> <tr> <td>休前日 宿泊</td> <td>大人お1人様 お支払い実額 (15,550円) (値引前宿泊代金)</td> <td>10,550円</td> <td>11,650円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	平日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (13,350円) (値引前宿泊代金)	8,350円	9,450円	2,200円 増し	4,400円 増し	休前日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (15,550円) (値引前宿泊代金)	10,550円	11,650円		
平日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (12,250円) (値引前宿泊代金)	7,250円	8,350円	(13,350円)																																
休前日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (13,460円) (値引前宿泊代金)	8,460円	9,670円	(14,670円)																																
平日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (13,350円) (値引前宿泊代金)	8,350円	8,900円	9,450円	5,500円 増し																															
休前日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (15,550円) (値引前宿泊代金)	10,550円	11,100円	11,650円	5,500円 増し																															
平日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (13,350円) (値引前宿泊代金)	8,350円	9,450円	2,200円 増し	4,400円 増し																															
休前日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (15,550円) (値引前宿泊代金)	10,550円	11,650円																																	
<p>稲垣温泉 稲垣温泉 ホテル花月亭 本館</p> <p>お得なプラン! 日本の温泉100選に6年連続入選した、湯量豊富な源泉掛け流し 湯上温泉が自慢。</p> <p>宿泊期間: 7月18日~12月27日 2名様以上1室 宿泊期間: 7月18日~12月27日 2名様以上1室</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>平日 宿泊</td> <td>大人お1人様 お支払い実額 (11,150円) (値引前宿泊代金)</td> <td>6,150円</td> <td>7,250円</td> <td>12,250円</td> </tr> <tr> <td>休前日 宿泊</td> <td>大人お1人様 お支払い実額 (12,250円) (値引前宿泊代金)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>設定除外日 日お問い合せ下さい。●本館お料理グレードアッププランはお1人様3,300円増しとなります。</p>	平日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (11,150円) (値引前宿泊代金)	6,150円	7,250円	12,250円	休前日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (12,250円) (値引前宿泊代金)																													
平日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (11,150円) (値引前宿泊代金)	6,150円	7,250円	12,250円																																
休前日 宿泊	大人お1人様 お支払い実額 (12,250円) (値引前宿泊代金)																																			

●新型コロナウイルス感染症の状況により本キャンペーンを停止する場合があります。

パンフレットの記載のない宿泊施設もお気軽にお問い合わせください。

お申込み・
お問い合わせは



(一社)日本旅行業協会正会員 観光庁長官登録旅行業第939号
株式会社 農協観光青森支店
〒030-0847 青森市東大野二丁目1-15
総合旅行業務取扱管理者: 伊藤 亨・田川ますみ
TEL 017-729-8800
FAX 017-729-8803

お申込み・
お問い合わせは

株式会社農協観光代理業
青森県知事登録旅行業者代理業第26号
JA ゆうき青森旅行センター
☎0175-72-1433
総合旅行業務取扱管理者/八重樫泰浩

作品介绍

●令和2年度 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール（図画部門）



■青森県農協中央会会長賞
「おじいちゃんの田んぼ」
三沢市立第一中学校
3年 七崎華蓮



■優秀賞（図画部門第三部）
「おいしい給食」
三沢市立第一中学校
2年 竹森泰恵



■優秀賞（図画部門第三部）
「はーひーとくすくすんぞい」
八戸市立明治中学校
3年 及川那月